

## 目標達成計画

作成日: 平成 25年 12 月26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	今年からスタートしたオレンジプランのように事業所が認知症に於ける地域の旗艦となるには自治会に加入し、積極的に地域行事や防災訓練等に参加し、交流の進化を期待したい。	地域の民生委員・自治会・社協の役員の会議には積極的に出席し、地域の実情と活動を把握する。	包括ケア会議に出席し事例検証や意見交換し交流をはかる。地域の自治会の催し事には利用者と共に参加する。	12ヶ月
2	26	介護計画はアセスメントとモニタリングを繰り返しながら設定期間内の設定的な見直しを行うと共に、その過程で十分に家族と相談し、チームで作成する事を期待したい。	計画作成にあたり、家族と連携をとりながらスタッフと話し合い、計画書を作成し、定期的な計画の見直しや必要時の計画変更を行っていきます。	日々の変化を記録に残し、定期的に家族に報告、連絡、相談し、スタッフと話し合いながら、計画作成に取り組んでいきます。	6ヶ月
3	35	夜間ユニット1人体制時に於ける非難誘導はグループホーム協会の調査・研修報告を参考にして職員がパニックにならないように、より実践的訓練とその頻度を増やすことを期待したい。	夜勤者全員に非難誘導について重要性和優先順位を説明し落ち着いて行動するよう指導する。	夜間、火災時における利用者の誘導、及び連絡網等はシュミレーションによる体験を通じて理解してもらう。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。